



最近、自分で食べたがり、お茶碗をひっくり返したり、スープに手を入れてかきませたり…。そのたびに、床がよごれたり、エプロンを使っても洋服までべちゃべちゃになったりして、後始末が大変で泣きたくなります。

A 自分で食べたいという気持ちが出てくるこの時期、手づかみが増えてくると同時に遊び食べも多くなってきます。でも、この時期の手づかみには意味があり、スプーンを持って食べるということに向けての準備でもありとても大切なこと。パン、野菜などはつまんで食べやすいようにし、自分で食べたいという欲求を満たしてあげることが大事です。

また、食事の汚れは仕方のないこととして、ある程度は見守るようにしますが、食べることより遊びに気がむいていようなら、「もうおなかがいっぱい」のサイン。「遊ぶならおしまいにしましょうね」と伝えて片付けてしまいましょう。泣くこともあるかもしれませんが、食事の時間は30分くらいを目安とすると良いでしょう。



歯磨きの仕上げ磨きをいやがります。泣き叫ぶので困っています。

A まず一人で歯ブラシをくわえて、カミカミするだけでもある程度効果があります。（ブラシをくわえたまま歩き回らないよう注意が必要です）

いやがるお子さんを押しさえつけ歯磨きするのは、やっているほうもいやになりますよね。あまりいやがるようなら、歯磨きは一度あきらめて、別の手段で虫歯予防をしましょう。

- ① 甘いものを食べるのは1日1回と決める。
（ジュース・スポーツドリンクなども要注意です）
- ② ごちそうさまのあとは麦茶などを飲ませる。
- ③ 大人のまねをしてぶくぶくうがいができるようならさせてみる。



かみつがみられるようになり、他の子どもをかまないか心配です。

A 小さいうちは、言葉でうまく気持ちを伝えられなかったり、体調が良くなかったりすると、思わずかんでしまうことがあります。言葉で表現できるようになると、かみつも少なくなっていきます。

「かまないよ」「かんだら痛いよ」と知らせることも大切ですが、なぜかんでしまったのかその原因を理解し、「〇〇したかったのね」と思いを受け止めてあげましょう。



自分の気に入らないことがあると、すぐにギャーギャー泣き出します。家の中なら知らんぷりしているのですが、外では周りの方が「どうしたの?」「大丈夫?」と声をかけてきて、いかにも「子どもがかわいそうでしょ」って言われているみたいで気が引けてしまいます。こんな時はどんな対応をすればいいのでしょうか…。

A 1歳を過ぎると自我が芽生え始め、自分の思いと大人の思いには違いがあるということに気づき始めます。それまで何でも大人の言うとおりにになっていたのに「イヤ」「ダメ」という言葉も出てきたり、大泣きをしたり…。

ただ、この時期はまだ自分の思いがそれほど強くないので、大人が気分転換させてあげると要求を忘れてしまったりします。どうしても気分転換がうまくいかずに泣きやまないと、周りの目が気になりますが、声をかけられたら「眠いのかしら…」などとサラリと言って通り過ぎてしまいましょう。



子どもが私になつかないで寂しいです。仕事で夜も遅いし、一緒に過ごす時間が短いから仕方無いのかも知れませんが…。

A 寂しいと思う気持ちは、大切ですね。疲れている時でも、お子さんの笑顔を目にすることができれば癒されるでしょう。長い時間接している人になつくのは仕方無いこと。

短い時間でもできるだけお子さんと触れ合い、一緒にいる時間を心から楽しんでください。あなたの気持ちはきっと届きますよ。